

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

骨粗鬆症診断におけるハウズフィールドユニットの優位性：腰椎および大腿骨頸部の骨密度との相関関係の調査

1. 研究の対象

2016年4月1日から2024年6月30日までの間に、当院の整形外科で腰椎変性疾患に対して術前に腰椎CTと骨密度検査(dual-energy X-ray absorptiometry :DXA法)を受けられた方です。

(本研究計画は23R150ですすでに申請許可されていますが、今回調査期間を延長して申請しています)

23R150の課題名と調査対象期間は下記になります。

課題名：骨粗鬆症診断におけるハウズフィールドユニットの優位性：腰椎および大腿骨頸部の骨密度との相関関係の調査

調査対象期間：2019年4月1日から2023年9月30日

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から2025年3月31日まで

3. 研究目的・方法

目的

下記の診療情報等を利用し、骨粗鬆症診断におけるCTの優位性について調査することを目的とした研究を実施するため、当院において術前に腰椎CTと骨密度検査(DXA法)を行った方で、研究者が診療情報をもとに患者さんの治療や治療経過の実態の把握、治療予後に寄与する因子の検討を行います。

方法

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 診療情報等：診断名、年齢、性別、画像結果（レントゲン、CT、MRI、DXA）、手術記録
- ・ 試料：なし

5. 情報の提供先・提供方法

特にありません

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2320）

研究責任者・問い合わせ担当者 整形外科／檜山 明彦